

第 **203** 回
定時株主総会

2025年6月25日(水)

古河電気工業株式会社



議事進行

1. 開会

2. 報告事項の報告

3. 議案の上程

4. 質疑応答

5. 議案の採決

6. 閉会

議決権数の報告

報告事項

第1号

**第203期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類ならびに
会計監査人および監査役会の連結計算書類の
監査結果報告の件**

第2号

**第203期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)
計算書類報告の件**

当期における 主な取組みとその成果

当期における主な取組みとその成果

当期の主な取組み

① 資本効率重視による
既存事業の収益最大化

② 開発力・提案力の強化
による新事業創出に
向けた基盤整備

③ ESG経営の基盤強化



当期における主な取組みとその成果

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 事業ポートフォリオ最適化の取組みを進める



利益創出を図る

当期における主な取組みとその成果

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 統一された戦略による事業運営の効率化
- リソースの効率的な配分による競争力強化



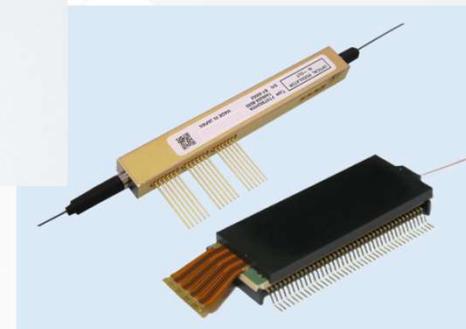
光ファイバ・ケーブル事業、メタル電線事業の再編

当期における主な取組みとその成果

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

■ 成長市場における優位性の確立

- ▶ 光コネクタで開発力・コスト競争力に強み
- ▶ 高速光変調器で世界トップレベルのシェア



子会社化を決定

当期における主な取組みとその成果

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

■ データセンタ・AI関連市場

- ▶ 機能製品関連事業などで
製品供給体制を強化



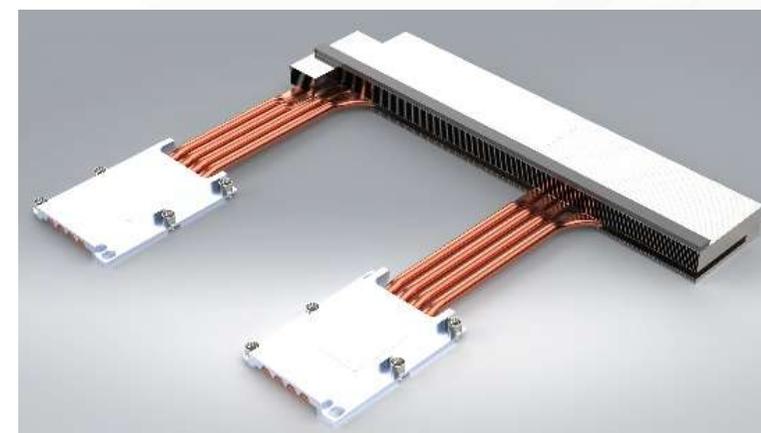
売上拡大を図る

当期における主な取組みとその成果

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

■ 放熱・冷却製品

- ▶ 競合他社との差別化を図り、より高機能な製品を顧客に対して提供



収益基盤の拡大に取り組む

当期における主な取組みとその成果

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

■ 社会インフラの老朽化等

- ▶ 社会インフラ維持管理向け
デジタルソリューションの提供



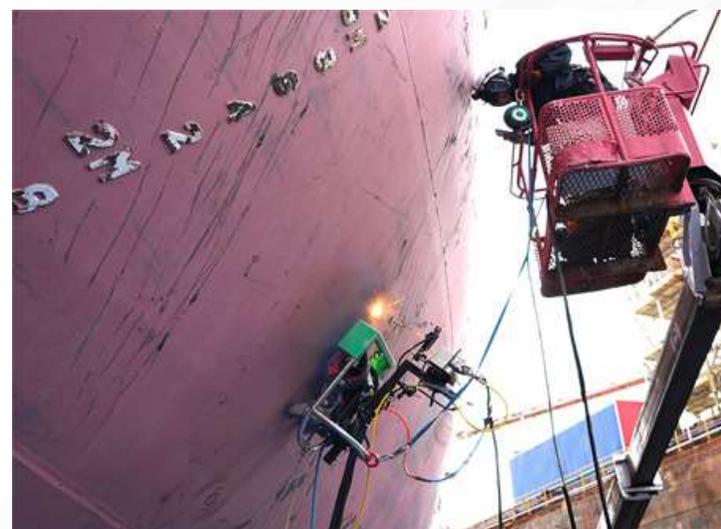
省人化・省力化に貢献

当期における主な取組みとその成果

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

■ 環境負荷や労働衛生の観点での改善

▶ 錆・塗膜の除去



レーザ施工システムの開発の推進

当期における主な取組みとその成果

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- ライフサイエンスに関する
事業の強化



**医療・産業機器向け光ファイバ等を
製造する会社の子会社化**

当期における主な取組みとその成果

③ ESG経営の基盤強化

- バリューチェーン全体で
温室効果ガスの排出量
ネットゼロを目指す



「古河電工グループ環境ビジョン2050」を改定

当期における主な取組みとその成果

③ ESG経営の基盤強化

- 古河電工グループ パーパス
「『つづく』をつくり、
世界を明るくする。」
- ▶ 従業員の理解促進、共感の醸成
を目的とした活動を実施



従業員エンゲージメントの向上に取り組む

当期における主な取組みとその成果

③ ESG経営の基盤強化

- 人権リスクの再評価により新たに特定したリスク
 - ▶ 低減させる施策に取り組む
- 責任ある鉱物調達に関する対応ルールを策定



当期における主な取組みとその成果

当期の業績（売上）

- **ワイヤハーネス等の自動車部品での増収**
- **データセンタ関連製品での増収**
- **銅地金価格・為替の変動**



グループ全体の売上増加

当期における主な取組みとその成果

当期の業績（損益）

- 高付加価値製品のラインナップ拡充・生産性の改善
- 販売価格の適正化への取組み

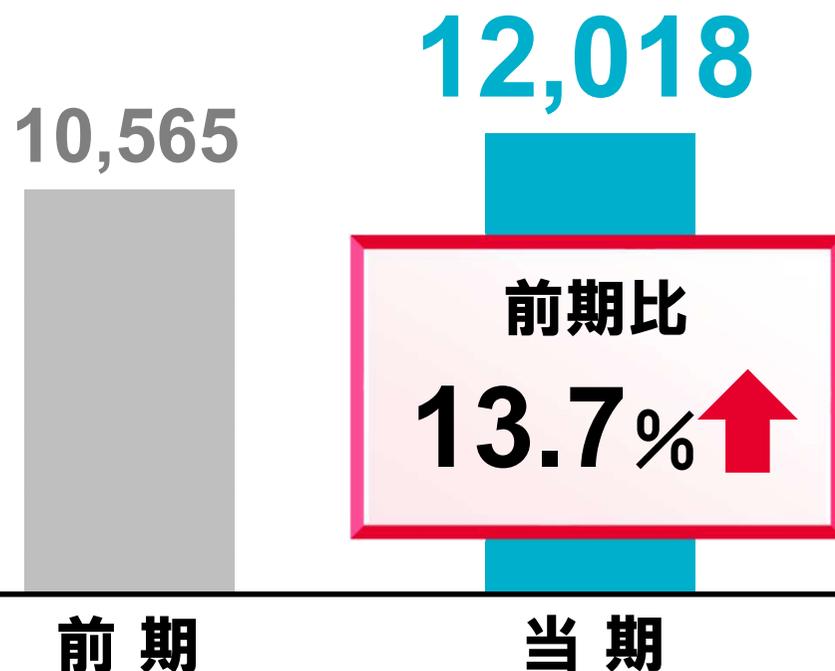


増益

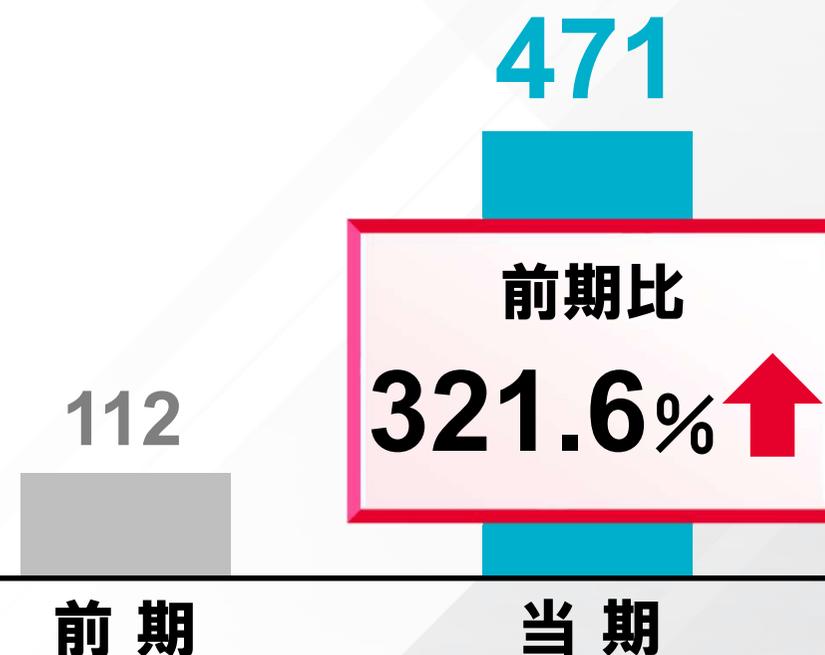
当期の業績について

連結損益計算書（単位：億円）

連結売上高



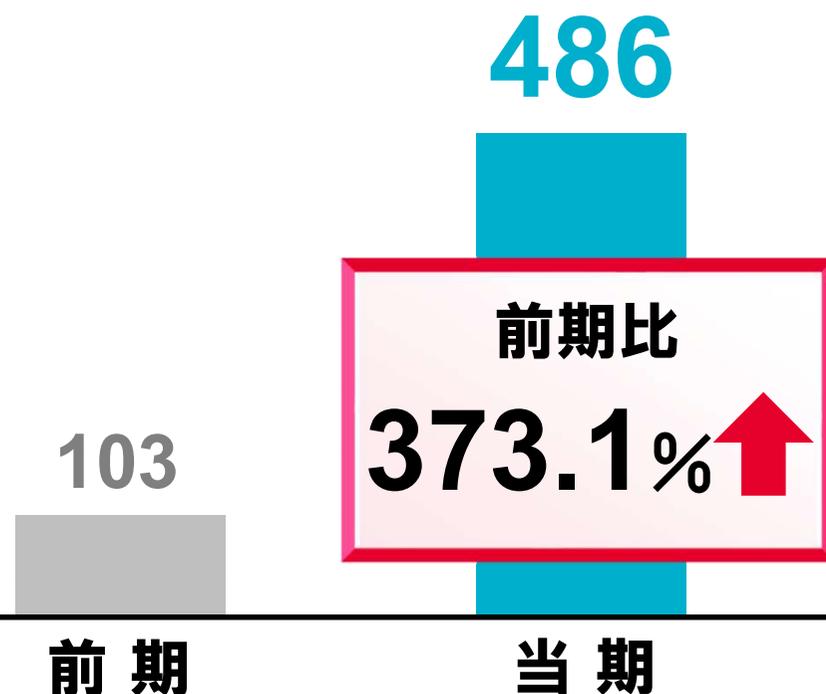
連結営業利益



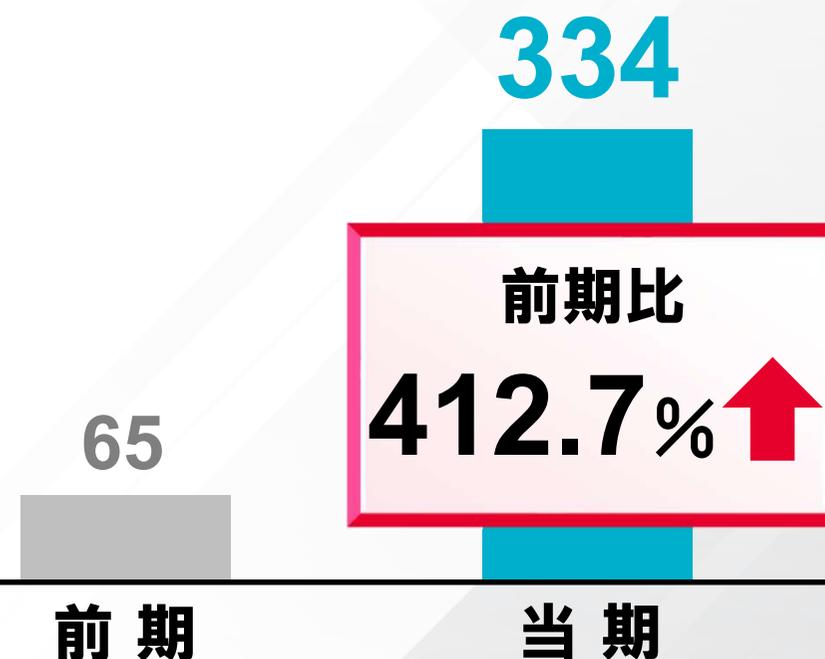
当期の業績について

連結損益計算書（単位：億円）

連結経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結および単体の 貸借対照表および損益計算書

- ▶ 当社ウェブサイトに掲載の招集ご通知に記載

連結および単体の 株主資本等変動計算書および注記表

- ▶ 当社ウェブサイトに掲載

対処すべき課題

対処すべき課題

当社グループ

- 2030年におけるありたい姿を描き、
目指す時間軸と領域を明確化

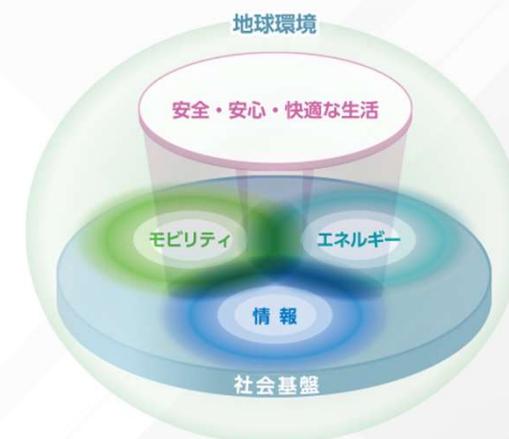


古河電工グループ ビジョン2030

対処すべき課題

古河電工グループ ビジョン2030

- 情報、エネルギー、モビリティの各領域およびこれらの融合領域
- これまでにない新たな事業の創出



古河電工グループ ビジョン2030

社会課題の解決を目指す

対処すべき課題

経営上の重要課題

収益機会のマテリアリティ

1

社会課題解決型事業の創出

- 次世代インフラを支える事業の創出
- 環境配慮事業の創出



2

Open, Agile, Innovative



3

多様なステークホルダーとのパートナーシップの形成



リスクのマテリアリティ

E

気候変動に配慮したビジネス活動の展開



S

人材・組織実行力の強化



G

リスク管理強化に向けたガバナンス体制の構築



- コーポレートガバナンス
- グループガバナンス
- サプライチェーンマネジメント
- 人権・労働慣行

ビジョン2030・SDGsの達成

対処すべき課題



中期経営計画「Road to Vision2030—変革と挑戦—」



対処すべき課題

中期経営計画

- ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化
- ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備
- ③ ESG経営の基盤強化

対処すべき課題

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 各事業の収益拡大に向けた事業ポートフォリオの見直しの継続的な実施



**利益を創出する製品群・
ビジネスモデルへの変革の推進**

対処すべき課題

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

情報通信ソリューション事業

■ 光ファイバ・ケーブル事業の 運営体制を刷新

- ▶ 一体的なグローバル経営により
効率的・迅速な意思決定を行う



収益拡大を図る

対処すべき課題

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

エネルギーインフラ事業

■ メタル電線事業の再編

- ▶ 事業運営の効率化による
相乗効果の発揮



多様化・高度化するニーズに迅速に対応

対処すべき課題

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

エネルギーインフラ事業

- マーケティング活動の推進による拡販
- ケーブル製造能力・工事施工能力の増強
- 利益確保重視の受注、等



対処すべき課題

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

自動車部品事業

- 電動自動車市場向けの
高電圧に対応した
ワイヤハーネスなどの関連製品



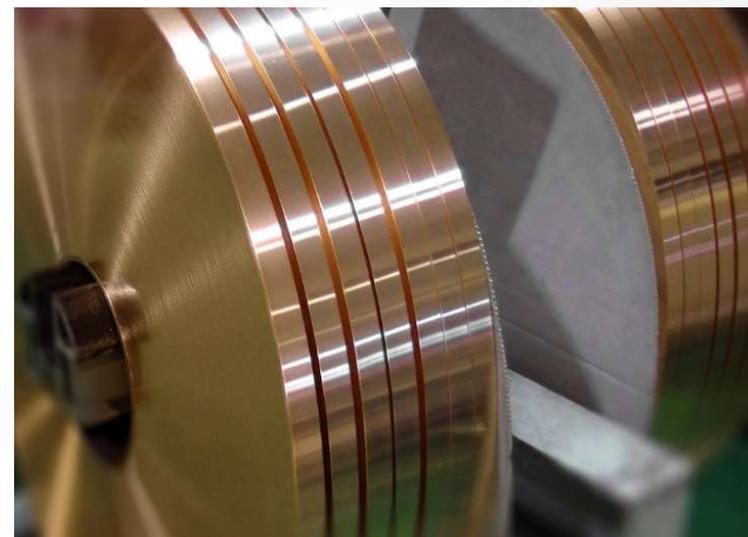
開発や製造自動化に取り組む

対処すべき課題

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

電装エレクトロニクス材料事業

- 高付加価値製品の
品揃えの充実・拡販

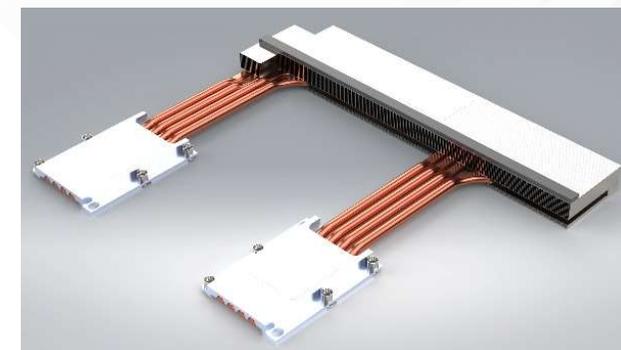


対処すべき課題

① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

機能製品事業

- データセンタ・AI関連市場
 - ▶ 放熱・冷却製品における次世代製品の開発
 - ▶ 半導体製造用テープ、高周波基板用電解銅箔の供給体制の整備



対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 4つのコア技術を活用
「メタル」「ポリマー」
「フォトニクス」「高周波」
- 外部パートナーとの
共創を推進



対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- デジタル技術やデータの利活用を推進
- 課題解決を起点とした製品・サービスの開発・提供



**新たな社会課題解決型事業創出に
向けた基盤整備を図る**

対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

■ 環境負荷の低減、労働衛生面での改善

- ▶ メタル・ポリマー
フォトリソ技術で加工



レーザ施工システムの開発を加速

対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

■ データトラフィックの増加への対応等

- ▶ フォトニクス技術・高周波技術の活用



オール光ネットワークと高効率エネルギー社会の実現に貢献

対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 脱炭素社会・循環型社会の実現を目指す



グリーンLPガスの開発・製造の推進

対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 安全でサステナブルなエネルギーの供給に貢献



核融合発電関連製品の開発

対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- フォトニクス技術・メタル技術を生かしたライフサイエンス関連製品



顧客への提案活動の推進・更なる高度化

対処すべき課題

② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- スタートアップ企業との共創基盤を活用
 - ▶ 人工衛星搭載用途
 - ▶ 環境観測機器用途



各種製品の開発を推進

対処すべき課題

③ ESG経営の基盤強化

- 特定したマテリアリティごとに
2025年度の目指す姿を設定
 - ▶ 実現する施策を策定
 - ▶ 進捗を測定する
サステナビリティ指標を選定し、
目標値を設定



対処すべき課題

③ ESG経営の基盤強化

- 気候移行計画の策定
- パーパスの浸透などの人材・組織実行力の強化活動
- 従業員エンゲージメントスコアの導入、等



ESG経営の基盤を強化

対処すべき課題

中期経営計画

■ 2025年度（最終年度）

財務目標 サステナビリティ目標

達成を図る

対処すべき課題

当社グループ

各種施策を着実に実行

企業価値の向上を図る